

# 臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院患者支援センターおよび東京工業大学では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を承りますようお願い申し上げます。

研究課題名：医療 - 介護のシームレスな情報共有支援に関する介護現場を視点とした調査研究

## 1. 研究の概要

これまでの研究では、医療介護連携時には医療情報のみならずデリケートな情報の共有が実現できていないことが分かっています。その中には、生活情報や介護情報が含まれており、生活支援を専門とする介護現場にとっては課題となっていると考えられます。しかし、医療介護連携における情報の受け手側である介護現場の職員が実際に必要としている情報の詳細については明らかにできておらず、具体的に後押しが必要な情報や機能が特定できていません。本調査では、介護現場の視点から医療現場との連携時に必要とされる情報や、現状の情報共有に関する実態および課題を探ります。これにより、生活支援を伴うケアの中で有効な施設利用者のデリケートな情報を共有しやすくするための支援方法を検討します。評価方法はインタビューを用いて実施します。評価の対象者は、介護職員ならびに看護師の皆さんです。C-0113（医療 - 介護のシームレスな情報共有支援方法の開発とその評価）を継承する形で実施します。研究目的は基本的には同じものです。

以下の研究に継承します。

本研究は、宮崎大学医学部附属病院患者支援センターを主たる研究機関として実施する多機関共同研究であり、以下の研究体制で実施します。

### 【研究代表者】

鈴木 斎王 宮崎大学医学部附属病院患者支援センター・特別教授

### 【共同研究機関】

東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授 杉原太郎  
試料・情報の授受を本学・東京工業大学間で行います。

### 【研究事務局】

東京工業大学 環境・社会理工学院 技術経営専門職課程 准教授 杉原太郎  
〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 東工大CIC棟705号室  
tel 03-3454-8758

### 【連絡先】

宮崎大学医学部附属病院患者支援センター TEL 0985-85-1510・（内線 7004）

### < 研究実施施設 >

インタビュー対象施設として以下の協力施設を対象とします。

|                 |            |          |
|-----------------|------------|----------|
| わかくさ（神奈川県済生会）   | 施設責任者：清水雅  | 担当者：杉原太郎 |
| 港南の郷（東京都済生会）    | 施設責任者：小寺政明 | 担当者：杉原太郎 |
| とちの木荘（栃木県済生会）   | 施設責任者：植田稔  | 担当者：杉原太郎 |
| 龍ヶ岡（茨城県済生会）     | 施設責任者：林佳範  | 担当者：杉原太郎 |
| 彩光苑（埼玉県済生会）     | 施設責任者：田島襄  | 担当者：杉原太郎 |
| 小鹿苑（静岡県済生会）     | 施設責任者：望月美宏 | 担当者：杉原太郎 |
| 小鹿なでしこ苑（静岡県済生会） | 施設責任者：増田信  | 担当者：杉原太郎 |

## 2. 目的

本研究は、医療と介護の連携における情報共有の課題に焦点を当てています。医療現場から介護

現場への転所に伴う情報共有における介護職員の認識を調査するため、横浜市内の特別養護老人ホームわかさの介護職員および看護師の皆さんに対するインタビューを実施します。なお、本研究は「医療・介護のシームレスな情報共有支援方法の開発とその評価」の後継研究となります。

### 3. 研究実施予定期間

この研究は、倫理委員会承認後から 2025 年 3 月まで行われます。

### 4. 対象者

この研究では、介護施設で働く介護職員ならびに看護師の参加を予定しております（年齢が 20 歳以上）。

### 5. 方法

#### (1) 対象となる方

今回の研究では、対象者は介護職員ならびに看護師の皆さんです。

#### (2) この研究で行う治療方法

今回の研究で、新しく行う治療はありません。

#### (3) 検査および観察項目

介護施設職員のみなさんへの調査を実施し、この研究のデータとして活用します。

- 医療現場から介護現場への転所に伴う情報共有における介護職員の意識

#### (4) この治療法で予想される副作用

副作用が発生するリスクはありません。

#### (5) 研究への参加期間

それぞれの方にご参加いただく期間は、1 回の質問、インタビューにつきおよそ 30 分です。

#### (6) 研究への参加を中止する場合について

あなたがこの研究へ参加されても、次の場合は参加を中止していただくこととなります。あなたの意思に反して中止せざるをえない場合もありますが、あらかじめご了承ください。中止する場合は、その理由およびそれまでのデータの活用方法などを患者支援センターからご説明いたします。また、中止後も患者支援センターが誠意をもって医療・介護のシームレスな情報共有方法の検討にあたりますので、ご安心ください。

あなたが研究への参加の中止を希望された場合

この臨床研究全体が中止となった場合

その他、患者支援センターが中止したほうがよいと判断した場合

#### (7) 研究終了後の対応

この研究が終了した後は、この研究で得られた成果も含めて、患者支援センターは責任をもって最も適切と考える医療・介護のシームレスな情報共有方法の改善をいたします。

### 6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

### 7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

### 8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用いたします。

## 9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

## 10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、教員の研究費ならびに科研費（基盤C）で実施します。したがって、ご参加いただくにあたって、あなたの費用負担が発生することはありません。また、ご参加いただくにあたっての謝金などのお支払いもありません。なお、本研究の研究担当者は、文部科学省から研究助成金等（科研費（課題名：超高齢社会の転院・転所情報の共有技術支援及び技術導入がもたらす社会的課題の検討））を受けて研究を行いますが、申告すべき利益相反注1）はありません。また、「宮崎大学医学部等における臨床研究等利益相反マネジメント規程」および各機関の規程等に従い、この研究の公正な実施に影響が出ないように配慮いたします。

注1）臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

## 11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

## 12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に継承して欲しくない方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

## 13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

宮崎大学医学部附属病院患者支援センター

住 所：宮崎市清武町木原5200番地

電 話：0985-85-9513